

たんちょう

No.86

昭和61年 元旦 発行

新春臨時号



謹賀新年



釧路地方腎友会

釧路市新富町1番7号 (林田クリニック内)

会長宅 TEL(0154) 2-3868 (1:11)

事務局長宅 TEL(0154) 25-2481 (早坂)



謹賀新年



鉋腎会々員の皆さん、昭和61年の新年、明けましておめでとうございます。

透析生活を続けながら、今年もまた皆様方と共に新しい年を迎える事ができ、大変うれしく共に喜び合いたいものと思います。これも透析医師ならびにスタッフの献身的な努力により、透析技術が向上し、透析患者も現在では健常者と変わらないほど家庭生活に従事し、そして社会生活に参加する事が出来るようになり、今では完全社会復帰をしている患者さんも多数おりますことは非常に喜ばしい事であり、これからも病気に負けないで、健常者に負けない精神力で、透析生活を乗り切ってほしいものです。

『1年の計は元旦にあり』といえます。昨年1年間の出来事を思い浮かべ、それがどうであったかを振り返り、その反省点は今年に生かしていく事が大切でしょう。腎友会としても色々と反省しなければならない事、改善を要する事、などがあり、今年はそのらを反省して、活動を前進させるよう努力いたしましょう。

今年の正月を迎えた事により、透析歴満10年の人が市立病院に葛西さん、阿部さん、今村さん、そして林田の大熊さんの4人がおりました、私共の先人として大変御苦労様でした。今後も、健康で長生きしてほしいものと思います。そして、私も1月23日で満10年となります。『十年一昔』といいますが過ぎ去った月日は早いもので、この10年間透析の苦しみ、つらさなどを忘れるために、ガムシヤラに生きてきた10年のような気がします。『明日の生命がわからない、だから今やらなければもう出来なくなるのだ』という気持ちになり、色々な事に手を出し、行動に移し、健常者では出来ない様な事もしてきました。今年からは、自分も長生きする為の工夫をしなければ、と思います。

170名からの患者さんのいる鉋腎会であります。若い人も数多くいますので、これからは若い人によって、新風をふきこんだ腎友会活動をおし進めて行ってもらいたいと思います。

今年は鉋腎会も満10年を迎えます。記念事業を実施する事と同時に、会活動も皆さんの協力により、10年間の反省点に立った活動の出来るよう知恵を出し合って前進させましょう。

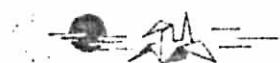
鉋腎会々長 上田 弘

謹賀新年





謹賀新年



釧路腎友会員の皆さん、明けましておめでとうございます。

希望に輝く昭和61年の新春を皆さんと共に、お祝いできますことを心からお喜び申し上げます。

昨年は選挙など、様々な事がありました。私にとって、特に忘れることができない思い出の一つは、7月に皆さんと共に西別岳へ登山したことであります。

『自分の体に自身を持つ』と八百メートル以上の山岳登山に挑戦し、成功させた皆さんの精神力の強さと、ファイトには心から感動を覚えた次第であります。

いま、長びく景気の低迷、国の財政難などの理由で、福祉の見直しが叫ばれています。私は、福祉見直し政策は即、医療費の抑制、福祉の後退につながることを考えると、その阻止の為に努力することを誓うと共に、充実した福祉が確立してこそ真の先進国となり得るものと考えます。

私はこれまで、道議会で、透析患者の皆さんの希望の光となる『道腎バンクの発足』『腎移植センターの設置』『通院交通費の助成制度』をはじめ、腎臓病患者の総合対策について取り組み、一定の成果を収めてくることができました。

今年も皆さんの代弁者として努力を続けたいと決意しておりますが、どうか透析がつつがなく療養に専念し、元気に頑張ってください。ことを期待申し上げます、新年のご挨拶といたします。

昭和61年 元旦

北海道議会議員 伊藤 武一



新年明けましておめでとうございます。

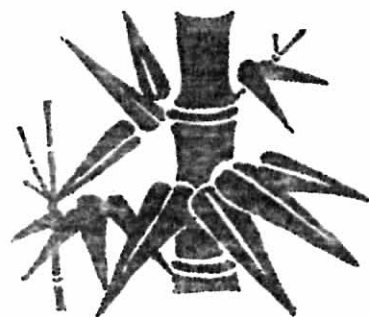
昨年は一方ならぬ御支援を賜わり、見事大勝利の栄冠を勝ちとることが出来たことに対し心から厚く御礼申し上げます。

これからは、先に皆様にお約束いたしました腎疾患総合対策、いわゆる腎臓病の予防、早期発見、早期治療の体制を確立し、慢性に移行した患者に対する医学的管理、指導体制を確立し、既に腎不全…透析になつた患者には移植により、できるだけ完全社会復帰をはかること、また透析を続けながら社会復帰し社会に貢献できる道づくりに懸命に努力してまいりたいと決意をしている次第でございます。

なお、明年度予算には、通院交通費制度の充実（増額）と働らく場の確保にむけて大いに奮闘してまいりますので今後とも皆様の御指導とかわらざる御交誼のほど心からお願いを申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

釧路地方腎友会顧問

高橋 宏政





謹賀新年



謹んで新年のおよろこびを申し上げ、あわせて釧腎会の発展と皆様のご多幸を心より御祈りいたします。

本年は釧腎会創立十周年をむかえ、先輩諸氏の文字通り、血と汗で勝ち取つて来た透析患者の福祉厚生諸条件を守り、さらに前進する様、一丸となつてがんばりましょう。

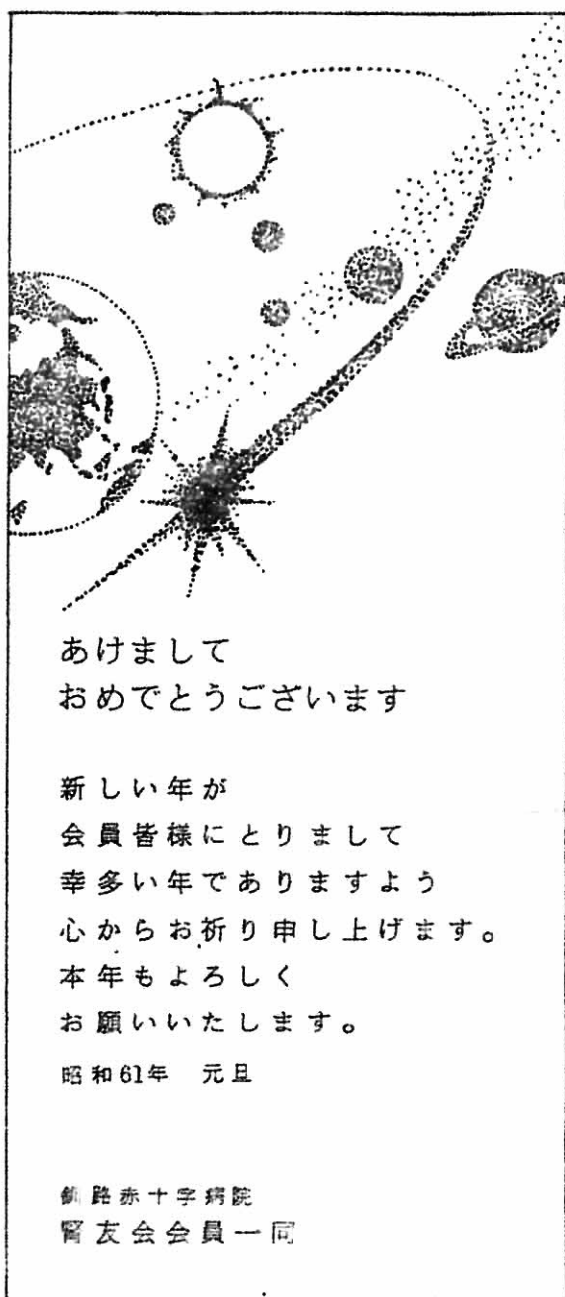
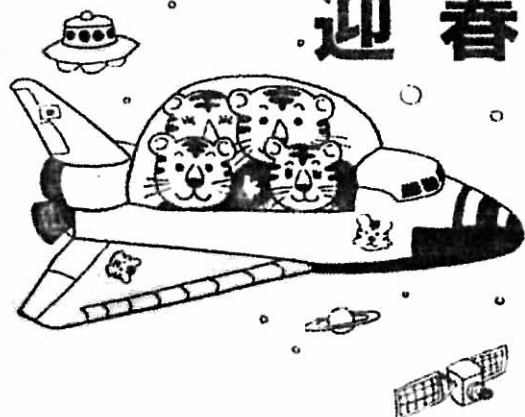
私達は一人ではありません。全道の全国の仲間が互いに励ましあつてくれています……。

釧腎会発祥の伝統を誇りに本年も皆さんと共にがんばりたいと思います。



阿寒連峰を望む春湖台の病院・・・
釧路市立総合病院腎友会々員一同

迎春



あけまして
おめでとうございます

新しい年が
会員皆様にとりまして
幸多い年でありますよう
心からお祈り申し上げます。
本年もよろしく
お願いいたします。

昭和61年 元旦

釧路赤十字病院
腎友会会員一同



謹賀新年



新年を迎えて

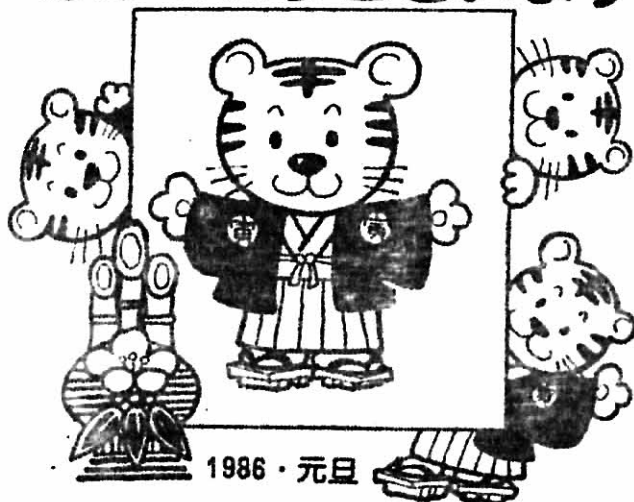
林田クリニック 橋本 巖

会員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。日ごろから体調に気をくばり、万全な体調で、お正月を迎えたことと存じます。私たち林田クリニックの会員も全員元気に新年を迎えることができました。

昨年は、西別岳登山参加者全員登頂など、腎友会行事が大成功のうちに終わることができました。今年は、さらに10周年記念の年でもあります。

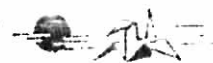
10年ひとむかしといいますが、腎臓病患者にとっての10年は、実際の何倍もの長さであったことでしょう。釧路の透析医療がさらに進歩し、私たちも10年20年と前進を続けることを願って、新年の御あいさつといたします。

あけまして
おめでとうございます





謹賀新年



新年おめでとうございます。今年も又、強く、たくましく生きぬく決意を新たに、新年をお迎えのことと存じます。

お陰さまで、持病のある身とはいえ、おせち料理をいただくこともできるし、お神酒を口にすることもできる時代になったことを幸わせに思う昨今ですが、昨年はずいぶんいろいろなことがあったように思われます。医療費の改定、生体腎元買問題、これらは我々にとって快いものではありませんでしたが、腎友会の運動が実り、医療費の心配がなく治療が受けられることはありがたいことです。又、先き行き明るいきこととしては、免疫抑制剤の特効薬が出たこと、脳死についての国の判定基準が出たこと、死後の臓器提供についてのアンケート調査で、臓器提供に理解を示す国民が多くなったこと、そして、釧路に住む私達にとっては、釧路市立病院での移植の成功と、特に若い人達にとっては明るい展望が開けようとしています。

一方、医学の進歩がめざましい今日、実年齢にとっても、何かしら先き行きより充実した治療と、より快適な生活への期待が持てそうな見通しを何気なく感じますが、何年先のことであっても希望と強じんな精神力を持って、現在の生活を謳歌したいものです。

世の中は、私たち患者にとって決して甘くはありませんし、安閑として治療を受けられる情勢にはありません。従って、私たちが安心して生活していくためには、腎友会の名のもとに一致団結する必要がありますし、自分のできることを通して活動に加わることで、活動は活発になり、快適な生活へと前進することになるわけです。幸い、釧路腎友会をはじめ、道腎協、全腎協ともに先頭に立って活躍して下さる方々の、獅子奮迅の働きと、同病なるがゆえの隣人愛によって数々の難関をのりこえ、私たちの生活を支えてくれていることは今までの実績で明らかです。正に恵まれた器によって、私たちは守られていると言えます。

その方々の指導と指示に従い、協力していくことこそが私たちの義務であり、責務であると思います。さらに、お世話になっている主治医をはじめとするスタッフの方々にも、わがままを言わず、診断や忠告にすなおに従うことも又、私たちの義務であり、より快適な生活を送るための必須の条件といえます。年頭に当たり、新たな気持ちで腎友会の先人や役員の方々に、そして病院の方々に、社会に、家族に感謝を忘れず、トラ年にふさわしく力強く、有意義な1年間を過ごして行きたいと思う次第です。本年もよろしくお願い致します。

昭和61年 元旦

協立病院 腎友会幹事 竹内 昇

頌春



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

今年は釧路地方腎友会が出来て創立十周年になり、心からおめでとうございます。と申し上げる次第です。

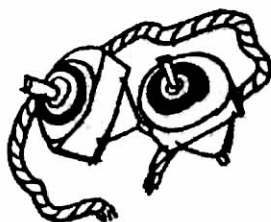
私達も厚岸病院に帰って透析をはじめ五年目になりました。

今では安心して透析を受けていますが、最初の頃は機械に慣れずに苦労しました。

現在、十数人の患者達は、楽しく透析を受けております。

皆さんも風邪などに充分気をつけて下さい。また栄養と睡眠を多く取って日々を大切に暮して下さい。

私は今年も山登りに挑戦します。



厚岸町立病院腎友会

代表幹事 波佐谷 純 考



明けましておめでとうございます。

日本で一番早く初日の出が拝める根室の地から新年のごあいさつ申し上げます。

本年は釧路腎友会創立十周年の節目の年私達、根室腎友会も先輩諸氏の労苦を継ぎさらに前進する年にしたいと存じます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

根室町立病院腎友会

代表幹事 岡田 壽 治

謹賀新年

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は私にとってまさに人生の変りめの年でありました。四年半の血液透析から「CAPD」に移行した年でしたから……。

今は液の交換作業にもすっかり慣れて、当初のもくろみ通りの人生を送っています。

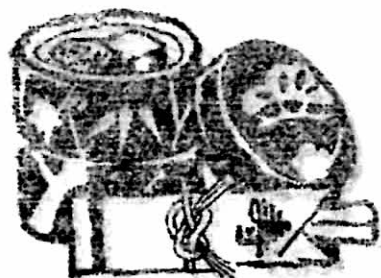
透析に費やされたであろう時間を有効に使え、趣味のワクも広げ、毎日張り切っております。

不幸にして病魔におかされた体になつてしまいましたが、物は考え様で、透析になつた為この様な生活になつたわけですから……。

腎不全というハンデいをのりこえ、この人生を前向きに生きたい、と思ひます。

さて、今年はトラ年、昨年の阪神タイガースの勢いが今年のトラにも引継がれればと、トラ年の一人としてがんばりたいと張り切っております。

CAPD代表 木村 俊



あけまして
おめでとうございます

昨年は大変お世話になりましたと
ございました。

今年もどうぞよろしく願い致します。
ご存じですか。

今から10年前、医学の進歩がなく、透
析の機械も不足で、腎不全と診断され
た時、半年の延命を計るのが精いつばいで
した。

今ではどうでしょう。

医学の進歩と、腎友会のめざましい活躍
によつて、機械の不足もなく、医療費も
無料となり、社会復帰もできるようにな
りました。

この社会的恩恵に対し感謝したいと思
います。

この社会的恩恵に対し私は次のように考
えます。

恩恵を受けたなら何かでお返しをする、
これが人情ではないでしょうか。

働けるようになりましたら、職場で働く
事、家事に専念する事も社会えのお返し
です。

いち番大きなお返し（社会えの貢献）は
腎友会活動を通じて、腎臓病の根絶では
ないでしょうか。

今、全腎協を中心として、腎臓病を根絶
するために「腎疾患総合対策」の早期確
立を国に働きかけております。

この対策を国が、国民が認め法律で定め
実施してくれるまで、私達のたゆまぬ努
力が必要なのです。

国に、国民に対し、いち番説得力のある
のは、病気を体験している私達なのです。
私達が毎年実施しております一つ一
つの行事、活動が腎臓病根絶に通じてい

るのです。

腎友会活動は、患者は元より、家族、一
般の方でも参加する事ができます。

取り敢えず患者全員が会員となつて、力
を合せ、自分達のため、子子孫孫のため
、大きくは社会のために、腎友会を盛り
上げて行きましょう。

腎友会活動の成果は、1年や2年で達成
できるものではありません。来る年も
来る年も、たゆまぬ努力が必要なのです。
無理な事は申しません。貴殿の提供でき
る（活動への参加）協力を腎友会にお寄
せ下さい。

今秋は、釧路地方腎友会が誕生して10
周年を迎えます。記念行事と記念誌の
発行を計画し準備を進めております。
立派な記念誌が出来るよう、記念行事が
成功しますよう皆様の御協力を、お願い
申し上げます。

最後に、

今年もどうぞ「腎友会に対し」御尽力を
賜りますように、又今年一年も私達に取
つて、健康で幸多き年でありますよう願
うものです。

昭和61年 元旦

か
き
春
日

釧路地方腎友会
事務局長
早坂 要





表紙カット

..... 長岡久雄氏 提供